第78回全日本ペン書道展作品公募のご案内

全日本ペン書道展はペン習字を学ぶみなさまのための作品展です。 みなさまのご出品を心からお待ちしております。

会 期 2015年7月18日 (土) ~7月20日 (月)

観覧時間 午前10時~午後4時(最終日は午後2時まで)

会 場 東京都立産業貿易センター浜松町館4階

〒105-0022 東京都港区海岸 1-7-8

主 催 日本ペン習字研究会

共 催日本書道学院

後 援 中国大使館(申請中)

出品資格

「ペンの光」購読者は「ペンの光」2015年2月号までに取得された競書による段級位を目安とし、該当するいずれかの部門にご出品ください。その他一般の方は、規定部4部・漢字部2部・かな部2部・手紙文部2部・筆ペン部3部・筆具外部の中からご自由にご出品ください。なお、2部門以上に重複して出品できますが、同一部門の出品は1点限りとします。

※作品課題は「ペンの光」2月号20ページ~34ページおよびホームページに掲載しています。
※用具、用紙寸法、出品料等は次項をご覧ください。

作品受付

2015年4月20日(月)~5月8日(金)

- ※作品は書き上げたまま、表装をせずにお送りください(審査員は除く)。
- ※出品票は「ペンの光」3月号・4月号・5月号の巻末およびホームページに掲載します。 作品1点につき、出品目録・出品票・原稿票を同封してください。
- ※出品料・表装料は鑑別審査終了後、審査結果通知とともに事務局より団体代表者または個人出品者宛に明細書付きの郵便振替用紙をお送りいたします。ご確認の上、ご送金ください。6月30日(火)までに上記書類が送付されていない方は、お手数ですが事務局までご連絡ください。
- ※支部登録を行っている個人出品者並びに団体出品の精算は引き落としとなります。7月8日(水)発行予定のお取引明細書にてご確認ください。

送付先(搬入先)

〒162-8717 東京都新宿区早稲田町5-4 日本ペン習字研究会展覧会係

問合せ先

日本ペン習字研究会展覧会係

【電 話】0120-127-927

※土・日・祝を除く午前9時30分~午後5時30分

[FAX] 0120-135-794

出品規定

部	門	出品資格	作品課題	用具	用紙寸法 (単位:約cm)	褒賞	出品料	表装・表装料	返送梱包料 作品1点につき	
審査	員部	展覧会 自由			100×100以内 (仕上り寸法)	_	16,200円	額装または軸装で搬入 (実費斡旋有)	1,620円	
自運創作部		出品委嘱師範	(参考文A)私は窓の (参考文B)広野の 自由(参考文C)悟空に (参考文D)晋の (参考文E)もともと	市販の	90×40 以内	特別賞準特別賞	9,180円	<買取額(アルミ枠)> 19,980円 <貸額> 6,480円 <パネル表装> ・紙=5,400円	<貸額> 540円 <貸額以外> 1,620円	
臨	書部	出品委嘱 師範	自由 (古典・古筆の臨書)		※パネル寸法 = 90×40 貸額=90×45	奨励賞		・布=6,480円 ※いずれかをお選び ください		
規	1部	<規定部> 四段~準師範	活字課題F 大ざっぱで 活字課題G 垣根に ※縦書き横書きのいずれか		68×26		7,560円	<パネル表装> ・紙=5,400円 ・布=6,480円 ※いずれかをお選び ください	1,620円	
定	2部	準初段~三段	手本課題 H 馬車の中で 手本課題 I 池には氷が	ボールペン	B 4 判 36.4×25.7		5,400円	<貸額> 1,620円		
立17	3部	4級~1級	手本課題 J 湯あがりの 手本課題 K 旅にいづる	つけペン	A 4判 29.5×21.0		4,320円			
部	4部	新規~5級	手本課題L ゆう焼を 手本課題M ひにち	万年筆 デスクペン ※いずれか 自由	B 5 判 25.7×18.2	会長奨励賞	3,996円			
漢字部	1部	<規定部> 準初段~師範	自由 (参考文N) 玉露凋傷		B 5 判 25.7×18.2	師範会賞	3,996円			
部	2部	新規~1級	自由 (参考文O) 河川		A 5判 21.0×14.8	研究会賞	3,240円			
かな部	1部	<かな部> 初段~師範	自由 (参考文P) ひさかたの		B 5 判 25.7×18.2	特選	3,996円	本部にて		
	2部	新規~準初段	自由 (参考文Q) 夕月は		A 5判 21.0×14.8	金賞	3,240円	台紙に		
	1部	<規定部> 準初段~師範	自由 (参考文R) 万里さん (参考文S) 花々が	自由 ※インクは 黒または青	市販の便箋 (B5程度) または それに準ずる もの2枚	銀賞		貼りつけて	324円	
手紙文部			※縦書き横書きのいずれか 用紙は縦使用 作品は台紙(270×375mm以内, 色は自由)に貼り付け出品。			秀作	4,860円	展示します		
部	2部	新規~1級	参考手本T 衣替えの 参考手本U 日ましに ※縦書き横書きのいずれか 用紙は縦使用		市販の便箋 (B5程度) または それに準ずる もの1枚	. 八医	3,996円			
筆ペ	1部	<筆ペン部> 推薦~師範	参考文V 江碧にして 参考文W 同じ心ならん ※用紙は縦使用		B 5 判 25.7×18.2		3,996円			
ン	2部	準初段~五段	手本課題 X 泣くにや	筆ペン	B 5 判 25.7×18.2		3,996円			
部	3部	新規~1級	手本課題Y かもめ		A 5判 21.0×14.8		3,240円			
筆具	外部	段級位 問わず	自由 ※文字表現を主体とする	筆記具以外の ものに限る	A 3以内 (41.8×29.6)	創作賞 努力賞 他	4,320円	<貸額> 4,320円	432円	

(1) 共通事項

- ●用紙寸法は各部の指定寸法にしたがってください。
- ●用紙の厚さの指定は特にありませんが、極端に厚いもの・薄いもの・書道用紙(半紙・画仙紙の類)は避けてください。
- ●加熱により変質する用紙・インクは避けてください。
- ●作品受付前,輸送途中の紛失・破損については、責任を負いかねますのでご了承 ください。
- ●作品受付後,作品の取扱いには十分注意いたしますが,不可抗力により生じた作品・額の破損や汚損には責任を負いかねますのでご了承ください。
- ●受付済みの作品の取り下げは応じかねます。
- ●返送梱包料の割引、免除等はできかねますのでご了承ください。
- ●応募作品の著作権は作者(出品者)に帰属するものとします。ただし、展示および作品集、広報宣伝(※1)の使用権は主催者に帰属します。また、応募作品は著作権に抵触しないようにご配慮ください。万一問題が起きた場合は、責任を負いかねますのでご了承ください。
- ※1 最高賞受賞作品は後進指導用手本として使用させていただくことがあります。

(2) 審查員

- ●審査員部作品のほか筆具外部に賛助出品できます。
- ●用具は市販されている筆記具(筆ペン含む)をお使いください。(小筆使用不可)
- ●自額の場合、ガラスは使用しないでください。
- ●不出品の際は協賛費として2万円をお納めいただきます。納入のない場合、審査 員の資格を失います。

(3) 自運創作部・臨書部

- ●用紙寸法は最大90×40cmを厳守してください。但し90×40cmの用紙で出品の場合、パネル表装ではマットがでませんので、ご了承ください。
- ●用具は市販されている筆記具(筆ペン含む)をお使いください。(小筆使用不可)
- ●参考文はあくまでも参考です。参考文をお書きになってもかまいませんが、ご自 身でご自由に選文してください。
- ●臨書作品は原本原帖のコピーと釈文を添付してください。
- ●特別賞又は準特別賞の受賞歴がある方は自運創作部・臨書部における簡単な受賞歴 を同封してください。
- ●文部科学大臣賞・中国大使館賞・三上秋果賞・学文社賞受賞作品は木枠の買取額に変更させていただきます。金額はアルミ枠同様です。

(4) 規定1部

●書体(楷・行・草)は自由です。変体仮名の使用は避けてください。 ※21ページの課題Fはたて書きですが、よこ書きにしてもよい。

(5) 規定2部~規定4部・筆ペン2部・3部

●書体(楷・行・草)体裁ともに課題手本にしたがってください。 2種類あるもの はどちらかお好きなものを選んでください。

(6) 漢字部・かな部・筆ペン1部

●参考文はあくまでも参考です。 題材をご自身でお選びになる場合は「参考文」の注意書きにしたがってください。

(7) 手紙文部

- 文体は口語文(日常の現代語文)とします。
- ●体裁は実用的なものの範囲内で自由とし、一般的な書式で仕上げてください。宛名、 差出人の署名(仮名可)、差出の日付は必ず入れてください。
- ●用紙は縦に使用し、縦書き構書きは自由とします。
- 1 部は作品を台紙(270×375mm以内,色は自由)に貼り付けて出品してください。

(8) 筆具外部

●用具は筆記用具以外のものに限ります (ブラシ、刷毛、竹ペン、ガラスペン、割り箸等は可)

団体出品

(1) 出品について

- ●支部または団体による団体出品は出品作品1点から受付けます。
- ●団体出品をする場合は「団体出品目録」に必要事項をご記入の上,取りまとめた 作品に同封してください。
- 「団体出品目録 | が未提出の場合は個人出品者扱いとなりますのでご注意ください。
- ●団体出品希望の支部長先生並びに団体は『団体出品規定』を展覧会係宛にご請求 ください。

(2) 団体奨励賞

●一般の部、児童生徒の部ともに支部または団体で、特に出品に協力されたところ には団体優秀賞および団体賞を贈ります。

日 程

鑑別審查 5月31日(日)

※審査は展覧会審査員のうち本年度当番審査員により行います。

授 賞 式 ◆児童生徒の部 展覧会会場

7月19日(日)午前11時~

*受賞対象=大賞・準大賞・特別賞・特選(推薦は会場受賞無し)

◆一般の部 東京プリンスホテルプロビデンスホール

7月19日(日)午後3時30分~授賞式 午後4時30分~懇親会 午後6時30分終了予定

*受賞対象=特別賞·準特別賞·奨励賞·会長奨励賞·師範会賞· 研究会賞·特選

よこに置き換えて作品化して 本文をたて・ もよい。

それは大きな恵で気づかずに 昔の中学生の調子で ちやうどそれ等の 四月の風は吹いてゐる

自分の途中に安心し

おもひつきの善行でうつとりした

ひねくれた誹謗と歓び!

また急に悲しくなり

選文自由 自運〈創作〉部 **参考文 A**〉 田 [出品委嘱

中鳴舟会長選文

(選文自由 参考文 B

(師範)]

田 中鳴舟会長選文

用紙40×90m以内、 タテ・ヨコ自由

用紙40×90m以内、 タテ・ヨコ自由

伊東静雄 四月 刀の風」 『伊東静雄集

外に四月の風の吹いてゐるのを見る おもひ切りふざけ この上なく自由にされた気になつて 孤児!と自身に故意と信じこんで 真実彼らは孤児ではないのだつたが 私が識つた多くの孤児の中学生のことを 私は思ひ出す いろんな地方の町々で 私は窓のところに坐つて 悪徳をし

識(し)つた 故意(わざ)と 誹謗(ひぼう) 悪戯(いたずら) 曽(かつ)て

> 竹内勝太郎 「時間」『日本文学全集』 黒豹 より

その軽やかな親しい足取り。私のからだの上、心の上に過ぎてゆく月、水は私を押し流す、 日

雑草がはびこり、徒らに露がしげく。ほうぼうと芽生えが伸び、吹き過ぎる風に種を播き、私は土を耕し、

草むらにとんぼ返りを打つ蜻蛉、五月、六月、空に渦巻く光の渦、 ひそかに無花果が葉のかげに熟し、やぶ五月、六月、目にも見えず栗の花が散 やがて地に落ち。

子供の心を押しひろげてゆく時間。 鮮かに生長する神話、 それ等虫けらと葉っ葉のなかに

播(ま)き

日めくりの紙片を一枚一枚引きな夕、古い木の葉を吹き散らして好い指に日々の暦を繰りひろげ、鏡い指に日々の枝を吹き過ぎる朝の風は樹々の枝を吹き過ぎる朝の風は めくりの紙片を一枚一枚引きちぎる。

無花果(いちじく)

草々がはびこり、花が咲き、日が、私は私の心を、からだを耕し、私は私の心を、からだを耕し、私は私の上に歴史の歩みを感じる、 私私 枚、一枚、頁を数えながら、のうちらに神そのものの軽やかな足取りがあり、 は時間に押し流されながら 」がたけ

蜻蛉(かげろう)

しく繰りひろげてゆく日々の絵暦。 か

<

徒(いたず)ら

②短くしたい人は初めから「…自分に対して。」まで。

①長くしたい人は初めから最後まで。

い行は改行してよい

部改行しています。

部仮名に改めています

それで も一つの絆を

そのうち私に探し出させて呉れるのならば

か

<

私をこんなに意地張らすがよい あるものには未だ若かすぎる そんなに誘ひをかけ 甘いサ行の音で 見せかけだと私にはひがまれる

又ある部分は

多くの家族の絆はどこに行つたか

曽て私を締めつけた 老いすぎた私をからかふ 逆に 後に残して来た冬の方に 帯ほどな輝く瀬になつて 到る処の道の上で悪戯をしてゐる

散に走る部分は

(選文自由

用紙40×90m以内、 タテ・ヨコ自由

田

中鳴舟会長選文

中島 敦

『悟浄歎異』

其処(そこ) (字詰め・行数は自由) 竟(つい) 斯(か)く 瑣事(さじ) 有(も)たず 赭顔(しゃがん) 鬚面(しゅめん)

自運創作部 規定1部の選文・ 手本は この形式で

(選文自由 《参考文 D〉

田中鳴舟会長選文

、用紙40×905以内、タテ・ヨコ自由

淵明 『桃花源記

その場かぎりで

大ざっぱで無意味で

しかし本当の

晋の太元中、

舎儼然たり。良田・美池・桑竹の属有り。阡陌交は 便ち船を捨てて、口より入る。 怡然として自ら楽しむ。 女の衣着は、悉く外人のごとし。黄髪垂髫、並びに 初めは極めて狭く、纔かに人を通ずるのみ。復た行 通じ、鶏犬相聞こゆ。其の中に往来し種作する男 屋

あの時

うたってきかせたあの

なるほどこれは秋の花

どわめく雨のころまで

それは咲いてをした

昔の歌や俳諧の

おっかさんが

今わかる

神さまが雲をおつくりなされた気持が

飛びきりに本当の唄をひとつ

いつか書きたい

子守唄を

そっくりそのまま思い出したい

作品化する際はふりがなを書かないこ と。

処処

きて其の家に至り、皆酒食を出だす。停まること数 為に具に聞く所を言ふに、皆歎惋す。余人各復た延乃ち漢有るを知らず、魏・晋に論無し。此の人一一 外人と間隔す」と。問ふ、「今は是れ何の世ぞ」と。 人を率ゐて、此の絶境に来たり、復た出でず。遂に

日にして辞去す。此の中の人語げて云ふ、「外人の為

に道ふに足らざるなり」と。

(字詰め・行数は自由)

岸を夾むこと数百歩、中に雑樹無し。芳草鮮美にして、「table」

落英繽紛たり。漁人甚だ之を異とし、復た前み行きて、

に縁りて行き、路の遠近を忘る。忽ち桃花の林に逢ふ。

武陵の人魚を捕らふるを業と為す。

得たり。山に小口有り、髣髴として光有るがごとし。 其の林を窮めんと欲す。林水源に尽き、便ち一山を

おっかさんももう知らな

その唄は きけば

具に之に答ふ。便ち要へて家に還り、酒を設け鶏を漁人を見て、乃ち大いに驚き、従りて来たる所を問ふ。

殺して食を作る。村中此の人有るを聞き、咸来たり

て問訊す。自ら云ふ、「先世秦時の乱を避け、妻子邑

[規定部四段~ 〈課題 規定 1 部 準師節〕 F> (用紙26×68cm)

そういう唄をどうかして一つ…… か <

いきなり肺腑にながれ込んで

無駄だけはすぐ吐き出せる

人のあるかぎりあり 自由で目立たずに 空気のような唄を一つ

成田嵐石副会長選文・書 ※34ページに手本を掲載しています。 佐藤春夫「願ひ」『佐藤春夫詩集

※34ページに〈参考文E〉手本を掲載しています。

0 か <

向に誌しし所を尋ねしめしも、

遂に迷ひて復た路を

くのごとし。太守即ち人をして其れに随ひて往き、 に之を誌す。郡下に及び、太守に詣りて説くこと此 既に出づ。其の船を得て、便ち向の路に扶り、

どうもでたらめにうたったらしい

どうかして生涯にうたいたい

現代かなづかいに直しています。原文の句点を省略しています。

方々の家のまはりや野菜畑の隅に 十月の末 気象特報のつづいた 小さい野性の漏斗にかへつて 播きすてられたらしいまま ひなびた色の朝顔ばかりを

行つてゐたのであらう

トマトや芋のはうに

吾子は「蔵つておいてね」といふ ひとの小が 垣根に採った朝顔の種 小匣にそれを入れて 今年の夏は

彼女はまるでとりあはず 笑つてもみせなんだ

\$ 0

けるも久しぶりに琴が聴きたくて

子供の母にそれをいる

しかしいまは誇り高い菊の季節

したたかにうるはしい菊を

想ふ日多く

自分はひとりで面白かった

- 市の態と花のさが

「菊を想ふ」 23] 日本の詩歌 伊東静雄

G〉 (用紙68×26cm) 山崎春香総務理事選文 〈課題

見たやうに思ふ

〈課題 オ / 行書 〉 平田秋威常任理事選文・書

萩原朔太郎 「馬車の中で一 『日本の詩歌』

> また) 24

馬車の中で 私はすやすやと限ってしまった されいな婦人と 私をゆり起してくださらな 明ろい街燈の巻をはしり すずー、は、後の田谷とすず こしか神のむりも 作手にちかくそと、ブのる おおいなのでもかしかしゃし 私はうつつじうつてを望い それいな様へと 旅館のださかりなる軒にくるまで 私をゆり起してくださらな 005~0

亰文の句点を省略しています。一部改行しています。

I /楷書〉

渡辺萩溪常任理事選文·書

「ゲーテ詩集」『世界詩人全集 1』より

池には氷がいっぱいはりつめた 蛙は泥のなかに身をひそめて もう跳ぶことも鳴くこともできなかった 蛙は冬眠をむさぼりながら考えた 今度こそ外へ出たら 夜うぐいすのように 美声で歌ってやろうと やがて春風がふき氷がとけた 蛙は水をおよいで岸へあがった 威張って石に腰をおろした そして去年とおなじように ゲロゲロゲロと鳴いた

湯

桃子は赤いれまさを着て

〈課題 J/ 行書〉 田中瑛果理事選文·書

八木重吉「赤い寝衣」『現代詩文庫 1031』

とんのあたりを跳れまわってい

ひょこひょこおどっていたが ずかな障るのそばへれむっている

るっときりょうのいの類をのせ

まっ赤なからだの上したへ手と足とがとびだ

この課題は約72%に縮小しています。約33%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

この課題は約72%に縮小しています。約13%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります

〈課題 K/楷書〉

槌谷秋萠常任理事選文·書

室生犀星「旅途」 『日本詩人全集15』

旅にいづることにより ひとみあかるくひらかれ 手に青き洋紙は提げられたり ふるさとにあれど 安きを得ず かがるるごとく旅に出づ 麦は雪のなかより萌え出で そのみどりは磨けるがごとし 窓よりうれしげにさしのべし わが魚のごとき手に雪はしたしや

●規定4部──[規定部10級・新規~5級] (用紙B 5判=約25.7×18.2㎝)

伊奈幸代理事選文·書

八木重吉「夕焼」

『八木重吉詩集 はらへたまってゆく かなしみ』

この課題は約8%に縮小しています。約12%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

山村暮鳥「雑草| 『山村暮鳥全詩集』

ひにち

まいにち

水をやつてるたのが

こんな雑草であつたか

こんな雑草だけれども

ひにち

まいにち

水をやつてるたのだ

可愛くなくつてどうしよう

 \bigcirc \uparrow \setminus \bigcirc

この課題は約82%に縮小しています。約21%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります

)漢字1部 [規定部準初段~師範]

(選文自由)

(用紙B5判=約25・7×18・2㎝、 たてに使用

〈参考文 N〉 **菊池智泉**理事選文·書

選文の時間のない方は、この「参考文」を選んでください。

滿 R 舟 霯 Ź, 白帝城 满 接 森 繋 也 i2)周 [ø] 陰 故 傷 髙 波 叢 圍 楓 急 浪 N 剩 樹 寒衣 暮 兼 衙 林 买 石台 闸 43 勇 gr. 他 رك 塞 21 \widehat{z} 巫 } 催 候 峡 風 気 狐 2)

詩 0 \bigcirc 書

杜

南

杜甫 「秋興」山田勝美著『中国名詩鑑賞辞典

この参考文は約4%に縮小しています。約28%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

混用は避けること。②楷書・行書・草書 こと。▼用紙の使用はタテに。 のいずれかの書体で統一して書き上げる 自由。ただし新字体・旧字体・書写体の 【注】この参考文を書く場合、①字体は

塞上風雲接地陰 江閒波浪兼天湧 巫山巫峽氣蕭森 玉露凋傷楓樹林 巫ぶ 山ざん 江間の波浪は 巫渉峡 凋傷す 気蕭森 楓樹は

塞上の風雲は 天を兼ねて湧き 地に接して陰る

叢菊兩開他日涙

寒衣處處催刀尺 孤舟一繫故園心

寒なれ

処処 刀尺を催す

白帝城高うして 暮砧 急なり

白帝城高急暮砧

孤ニしょう 叢言 有 両たび開く 一に繋ぐ故園の心 他日の涙

漢字2部 [規定部10級・新規~1級. (用紙A5判=約21×14・8㎝、 たてに使用

(選文自由)

〈参考文 〇〉 笹谷玉翠理事選文・書

選文の時間のない方は、この「参考文」を選んでください。

河 11 庭 袁 初夏 竹 林

完成 Ł 昇 進 論文

調

太

陽

躍

動

書

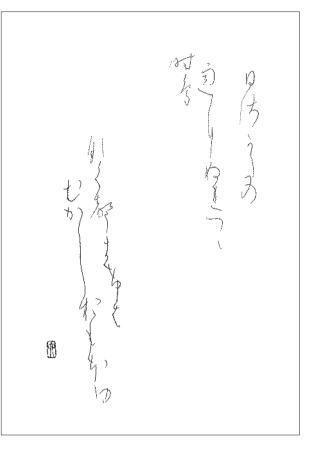
この参考文は約51%に縮小しています。約15%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

●かな1部 [かな部初段~師範]

〈選文自由〉

(用紙B5判=約25・7×18・2㎝、たてに使用・

◇参考文 P〉 岡崎六泉総務理事選文·書



良寛のうた『続かな墨場辞典』

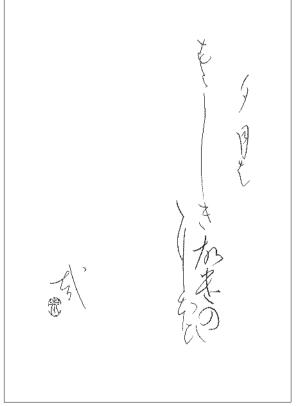
というにより4.5とは、ことなった。 り8.5となった。 ほのでした可多の雨耳ぬ連つ、時鳥那く聲支希者むかし於も本ゆひさかたの雨にぬれつ 『時に異な』にあります。

この参考文は約4%に縮小しています。約22%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

●かな2部 [かな部10級・新規~準初段]

〈選文自由〉 (用紙A5判=約21×14・855、たでに使用:

◇参考文 Q〉 中一泉流常任理事選文·書



岩間乙二の句『かな墨場辞典俳句編』

夕月者春、しき故遣の耳本ひ哉夕月はすずしき苔のにほひ哉

この参考文は約51%に縮小しています。約15%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

に留意。④用紙の使用はタテに。着色は自由。 書いてもかまいません。②かな作品風に仕上げてください。③参¦ください。(なお、臨書での出品は1部に限ります。) 考文を書く場合、漢字・かなの変換は自由です。かな変換の時に| 臨書作品の場合は、原本のコピーを添え、コピーの表 は旧かな・新かなの混用をしないこと。とくに変体がな使用の際; 面のわかりやすいところに「古筆名と出品者名」を鉛 【注】①かな1部・2部とも参考文です。和歌・俳句・その他何を¦ 臨書したものを出品されるときは次のことを厳守して 筆で記入し、一緒に提出のこと。

手紙文1部 [規定部準初段~師範]

〔選文自由〕

(参考文 R)

田中麗秀常任理事選文

ご用命くださいね。お買物でも何でもかまいません。 娘さんが看病できない時はどうぞ遠慮なく、 知りませず、ほんとうに失礼しました。 教室がお休みでお会いしていなかったので少しも 入院中とのこと、大山さんから聞きました。しばらく 教室を欠席されていたので心配していました。ケガで 万里さん、おかげんはいかがでしょうか。今日 お役に立てればうれしい限りです。 、私に

いに伺いたいと考えています。

こ体調がいくらか回復されるころ、折をみてお見舞

いつも教室の帰りに時間を忘れるくらい長いこと

立ち話をしていましたよね

とりました。 あなたのあの笑い声を聞くのが待ち遠しくてペンを

どうか一日も早くお元気な姿が見られますように

心からお祈りしています

かしこ

秋野和子

池田万里様

九月五日

(選文自由

参考文S〉 石井珠翠常任理事選文

花々が咲き乱れる美しい季節になりました。 あなたのお庭のミモザを思い浮かべながら

この手紙を書いています。

昨日は幸せなひとときを過ごさせていただき

ほんとうにありがとうございました。

ランチの美味しかったこと。ちらし寿司は私の

盛り付けもセンスにあふれていました。

大好物ですし、香り豊かな蕗の煮びたしも色よく

あなたにそっくりな目のパッチリとした可愛い

家事に育児に精を出すことができます。 おかげさまで明日からまたフレッシュな気分で

しますね。待っていてください。 冬になりましたら、柚子ジャムを作ってお持ち

四月一日

ではお元気でー

誠ちゃんのよちよち歩きの姿が忘れられません。

【注】・手紙文1部・2部ともに参考文です。

- 文体は口語文(日常の現代語文)とします。
- 仮名表記は現代仮名遣いにこだわらず、旧仮名遣いでもけっこうです。
- 体裁は実用的なものの範囲内で自由とし、一般的な書式で仕上げてくださ い。宛名、差出人の署名(仮名可)、差出の日付は必ず入れてください。
- 用紙は縦に使用し、縦書き横書きは自由とします。
- 行の字詰めは上記の通りでなくてもよい。
- 1 部は作品を台紙(270 × 375mm以内, 色は自由) に貼り付けて出品してく ださい。

(用紙B5判またはB5判以下の便箋形式 2枚 =約25・7×18・2㎝、たてに使用)

▶手紙文2部 [規定部10級・新規~1級]

=約25・7×18・2㎝、たてに使用) (用紙B5判またはB5判以下の便箋形式1枚

〈選文自由〉

◇参考文 T〉 押切秋翠理事選文·書

找山美保梯 0000	六月七日	お服をみつけてお出かけください。	気に入っていただけると嬉しいのですが…	スモックとおけいこバッグを作ってみました。	かりました。愛らしい姿を想像しながら、	押入れの中から、かわいいプリント布地が見つ	由美ちゃんはもう幼稚園に慣れましたか。	衣替ろの季節になってまいりました。
------------	------	------------------	---------------------	-----------------------	---------------------	-----------------------	---------------------	-------------------

この参考文は約4%に縮小しています。約28%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

〈参考文 U〉 三**悼梅花**理事選文⋅書〈選文自由〉

山村的美养		七月二十回	皆様によろしくお伝えくださいませ、	だくのを楽しみにしております	素晴らしいお住まいだそうで、拝見させていた	モダンななかにも日本的なよさが生かされた、	まことにありがとうございます。	このたびは、新築落成のお祝いにお招きいただき	国ましにお暑さきびしいこのごろです。
	0 0 0		らくださいませ。	おります	てうで、拝見させていた	なよさが生かされた、	います、	お祝いにお招きいただき	いこのごろです。

この参考文は約4%に縮小しています。約28%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

筆ペン1部 [筆ペン部推薦~師範]

〈選文自由〉

(用紙B5判=約25・7×18・2㎝、たてに使用・

【注】・ 筆ペン1部は参考文です。

• 用紙の使用はタテに。

漢詩や漢文を題材としてもよい。

〈参考文 Ⅴ〉 有田翠苑総務理事選文

江 碧にして 鳥 逾白く

Щ 青うして 花 然えんと欲す

今春 看又過ぐ

何れの日か 是れ帰年ならん

かく

杜甫 「絶句」『朗唱漢詩漢文』

江碧鳥逾白 今春看又過 山青花欲然 何れの日か 是れ帰年ならん 山紫江菱 今春 看又過ぐ 青うして 碧にして 鳥 花は 逾白く 然えんと欲す

何日是歸年

吉田兼好『徒然草』第十二段「同じ心ならん人と」

違(たが)はざらん

(選文自由)

〈参考文 W〉 畔柳香風総務理事選文

同じ心ならん人としめやかに物語して、

をかしきことも世のはかなきことも、

うらなく言ひ慰まんこそうれしかる

べきに、さる人あるまじければ、つゆ

違はざらんと、向かひゐたらんは、

ひとりある心地やせん。

○ かく

)筆ペン2部 [筆ペン部準初段~五段]

(用紙B5判=約25・7×18・2㎝、たてに使用)

〈課題 X/行書〉 今井雅峰常任理事選文‧書

位くにや明るし、急げば暗し、

遠い燈火もチラチラと

とまれ幌馬車、やすめ上黒馬よ

明日の旅路がないちやなし。

「北原白秋诗集」より〇〇

燈火(あかり) 黒馬(あお

北原白秋「さすらひの唄」『北原白秋詩集

この課題は約43%に縮小しています。約23%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

)筆ペン3部 [筆ペン部10級・新規~1級]

(用紙A5判=約21×14・8㎝、たてに使用)

〈課題 Y/楷書〉 田中鳴舟会長選文・書

かもめ かもめ

去りゆくかもめ

かくもさみしくロずさみ

渚はてなくつたひゆく

犀星詩を ○○かく□

渚(なぎさ)

室生犀星「かもめ(第一連)」『室生犀星詩集』

この課題は約51%に縮小しています。約19%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

● 四 酬〈 雪 作 〉 部

 <

※この作品は55×25に書いてあります。(用紙4×35以内、タテ・ヨコ自由)

HENDOWS WILLS CE **网络李维公理和公司公子或中心的** 令日子第一个一个年龄上午中野上文100°11日第 WE STATE TO SEE TO SEE THE SECOND SECTION OF And I was a second second second 4-54 114 💥 424 (1-1) 4-4-4 CONTRACTOR OF THE CONTRACTOR O 4-4-- 1-4-4-CIII A CONTRACTOR STORY 受禁物·统行检查公司等等 · 安耳含化了中华 your of the thermal agree in four track the second by Zowell-til - MET 19 は下のからをはあたまとう CONTROL WILLIAM PROPERTY CONTROL OF THE STATE OF THE STAT 最后来说是"一类以是一个"。

有所有各級人工(2004年) 中心即於建實各等人之於其名為所有以及或與不合 各項目為於在有可以其於之之以為與其以為於 自以可以及其可以其可以其可以,或與其以為之之 以以及於其以,或者可以以以以以,其可以可以以

をでは、 なり、 はのは、 はのは、 はのは、 はいない。 ないない。 ないないない。 ないない。 ないないない。 ないない。 ないな。 ないな。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない。 ないない

學家級 医黑色液体 〇〇 2~ □

●規定Ⅰ部

[規定部四段~準師範]

〈課題 上〉 成田嵐石副会長選文·書

※この作品は3×85に書いてあります。 (用紙2×85以内、タテ・ヨコ自由)

大どっぱて年養味で

6[/~--

-2-496

飛びきりにを書の吹をひてつ

このなるといれて

神ときが常とはてりなされた我特が

6000

4

د

10

訓

ぐらいが適

その場合は長辺が 67cm

よい。

ريد

でにする

か。」ま

ょく

いちばんではないで

合は

※文章を短くしたい場

25-4272

あの時 さたってとかずた あの

西伽塞山

チェシリ そのまし悪いめ!したい

FORT NATE

おいかん サール かんご

とうしょう はないはる とりょう なりん

ぞうか! てまなにうたいたい

全我のしていずるこう

りよりを自えるの

Veren Error rec

しゃいと 整確になる人 (人を)

毎紙だけはすぐたべきますう

サークーラーシャングラクトール

は蘇巻火の併し 〇〇卯一日

この課題は約28%に縮小しています。約356%に拡大するとほぼ原寸の大きさになります。

全日本ペン書道展一般部出品用紙用具のご案内

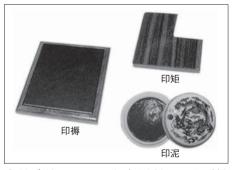
出品用紙

詳細は事務局までお問合わせください。かな料紙ふたば社の用紙を取扱いいたします。

出品部門		作品課題	商品番号	色	枚数	価格(税込)	寸法
± 122 A1	//_ ±17	【自運創作部】 参考文A 私は窓の 参考文B 広野の	31417	自	50枚	918円	
自運創	1作部部	参考文C 悟空に 参考文D 晋の 参考文E もともと	31418	黒	30枚	1,328円	85.5 × 39.4cm
		【臨書部】 古典・古筆の臨書	31413	紺	30枚	2,339円	
			31339	白	50枚	540円	
		課 題F 大ざっぱで	31419	黒	30枚	864円	
規定	1 部		31427	紺	30枚	1,204円	68.0 × 26.0cm
		課 題G 垣根に	31426	深緑	30枚	864円	
			31425	焦茶	30枚	864円	
規定	2 部	課題H馬車の中で	31340		手本つき 1 組20枚		B 4 判
750 76		課題I池には氷が	31341				36.4 × 25.7cm
規定:	3 部	課題」 湯あがりの	31342				A 4 判
.,,		課題K旅にいづる	31332				29.5 × 21.0cm
規定	4 部	課題Lゆう焼を	31333				B 5 判
		課 題M ひにち	31334	- 白			25.7 × 18.2cm
漢字	1 部	参考文N 玉露凋傷	31420			648円 送料込)	B 5 判 25.7×18.2cm
漢字	2 部	参考文O河川	31343		(, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 		A 5判 21.0×14.8cm
かな	1 部	参考文P ひさかたの	31421				B 5判 25.7×18.2cm
かなど	2 部	参考文Q 夕月は	31336				A 5判 21.0×14.8cm
筆ペン	1 部	参考文V 江碧にして 参考文W 同じ心ならん	31494		20枚	324円 (送料込)	B 5 判
筆 ペン	2 部	課 題X 泣くにや	31495		手本つ	うき 1 組20枚	25.7 × 18.2cm
筆ペン	3 部	課 題Y かもめ	31249		(648円 送料込)	A 5判 21.0×14.8cm

^{*}自運創作部・臨書部・規定1部は10組以上のご注文で1割引(送料540円〈税込〉)

雅印・押印三点セット



商品番号 31367 梱包送料 540円(税込) 価 格 6.156円(税込)

きれいな押印で一段と作品が映えます

作品を仕上げ、印を押す。晴れがましい気持ちにひたるとともに書人の喜びを実感する時でもあります。しかし、雅印の押し方ひとつで作品の見栄えが違ってきますから、やたらおろそかにはできません。印を正しく美しく押すために押印3点セットをご利用ください。そして、昇格・師範試験や競書作品にも押印をこころがけ一段と美しさを増した作品で合格を目指しましょう。

三点セットの内容 印褥…材は馬の皮。押印に最適な硬さ。

印矩…黒檀仕上げ。

印泥…美麗一両装。中国西泠印社製。

申 込 先

日本ペン習字研究会通販部

【電 話】0120-127-927

※土・日・祝を除く午前9時30分~午後5時30分

[FAX] 0120-135-794